

葉山だからできる豊かな学び 『学習社会』の『学びの憲章』も制定

キーワードは自立・共生・感謝・貢献

～教育総合プラン(中間案)まとまる～

激しい時代の変化の中で、二一世紀の葉山の教育の在り方を示す「葉山町教育総合プラン」(中間案)が、このほどまとまりました。

今回の中間のまとめでは、まず生涯にわたって学び続けることの大切さを、広く町民にアピールするために、葉山町『学びの憲章』を制定。これを受けて、自立や共生などのキーワードからなる四つの基本理念を掲げています。

また、これらの理念の実現に向けて、家庭・地域・学校・行政が一体で取り組む行動を、「アクション・アイテム」として具体的に示す一方、「学習を支援する教育施設への期待」と題して、生涯にわたる学びを支えるための教育・スポーツ施設などの拡充を提言しています。

経 過

葉山町教育総合プランの策定作業は、平成十四年六月にスタートしました。その中心になったのが、学識経験者や一般公募の町民、学校の先生など三〇人の委員で構成する「葉山町教育総合プラン策定委員会」です。

教育長から「今後の葉山町における教育の在り方について」諮問を受けた策定委員会では、教育総合プランづくりにあたって、協議会と「生涯学習・学校教育」「社会動向」「教育関係施設と整備」の三つの専門部会を設置。協議会と各部会を車の両輪に、数多くの会合を重ね、教育の諸問題について多方面から幅広い論議を進めました。

この間、葉山の教育に対する町民の考えを把握するため、一、四〇〇人近い町民の意向調査や高校生へのアンケートも実施。それらを参考にしながら、ほぼ二年半に及ぶ白熱した審議の

結果、まとまったのが、「二一世紀の葉山にふさわしい学習社会」の実現を骨子とした今回の教育総合プラン(中間案)です。

葉山町『学びの憲章』

中間のまとめでは、葉山がめざす方向を「学習社会」において、生涯にわたって学ぶことの大切さを町民一人ひとりに自覚してもらうため、葉山町『学びの憲章』を制定しました。その内容は次の通りです。

葉山町『学びの憲章』

- ◇個性を大切に、自分を磨こう
- ◇共に生き、共に育ち、共に学ぶことを喜びとしよう
- ◇人の温もりと自然の息吹を感じよう
- ◇葉山を愛し、世界を拓こう

基本理念とアクション・アイテム

『学びの憲章』の精神を受け、生涯にわたる学習と、それによって葉山がめざす人づくりの方向性を四つの基本理念にまとめました。

それぞれの基本理念を貫くキーワードは、「自立」「共生」「感謝」「貢献」です。

また、学びの憲章と基本理念によって示された「二一世紀の葉山の教育」を実現するため、家庭・地域・学校・行政が一体となって取り組む具体的な行動項目を、アクション・アイテムとして明確に示しました。これも今回の中間案の大きな特徴です。

基本理念と主なアクション・アイテムは次の通りです。

【基本理念Ⅰ】

自立した人間をめざして

【教育の重点】

- 家庭、幼児、学校教育の充実
- 特別支援教育を大切に（ハンディキャップのある子どもたちの自立支援の推進）

●健康生活の推進

●学びの場の充実

「アクション・アイテム」

- ★親も学びを（学校に大人の学ぶスペースを用意）
- ★葉山町子育て便利手帳（子育て経験豊かな町民と行政が共

同で作成し、新生児の保護者に配布）
★輝くひとみを（どろんこ体験や芝崎ナチュラルリザーブでの定期的な「親子磯遊び」）

★水難事故の防止（子どもたちに早い段階から水泳指導を）
★確かな学力を（少人数指導、少人数学級など弾力的な学級編成）

★考える力を（遊びや自由研究、科学コンテストなど、町内規模の各種コンテストの実施）

★幼・小・中学校教員の交換授業
★療育支援・発達相談センターの拡充
★生涯スポーツを（海岸や公園、葉山の散歩道）を活用し、ウォーキング・ジョギング・サイクリングコースなどスポーツ・ロードとして整備）

【基本理念Ⅱ】

心豊かに共生できる人間をめざして

【教育の重点】

- 社会性を育てる
- 学校間・校種間交流の促進
- 地域・世代間交流の促進
- 国際的な視野に立つ人間を育てる

「アクション・アイテム」

- ★学びのポイントラリー（夏休みなどに地域で体験学習を行い、体験ごとにポイントを与える）
- ★はりきる先輩（小学一年生が幼稚園・保育園を訪問したり、中学生が「一日先生」になって、小学校で教える）
- ★語り部（葉山にある先人の知恵や昔の体験を、子どもたちが聞ける機会を作る）
- ★英会話を学

ぶ（葉山の外国人家庭で、草刈りなどのボランティア活動をしながら、生きた英会話を学ぶ）

【基本理念Ⅲ】

自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

【教育の重点】

- 身近な視点から環境を考える力をつける
- 自然環境を汚さない行動力を育てる
- 地球・生命を愛する心を伝える

「アクション・アイテム」

- ★葉山再発見（海、山での体験学習や観察会などを通して、葉山の魅力にふれる）
- ★クリーン・アクション（地域の清掃活動や森戸川・下山川の清掃、ビーチクリーンなどに親子で参加）
- ★自然再生活動（里山保全に町民全体で取り組む）
- ★ISO（町立学校は環境の国際標準規格ISOを取得する）
- ★いのちの詩（感動を表現した「詩」を広く町民から募集）

【基本理念Ⅳ】

人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

【教育の重点】

- 家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ
- 社会変化に対応する力を育てる
- 新たな教育にチャレンジ

「アクション・アイテム」

- ★葉山の人材づくり（町民一人ひとりが、「その道の達人」をめざして、楽しく学び合う）
- ★学びのパスポート（小・中・高・大学や研究機関などとの連携により、町民が授業や講座を受けられるパスポート制度を作る）
- ★マスター校（伝統技術や実用的技術を教える町立の専門学校を新設）

これから

「葉山町教育総合プラン」は、まだ中間のまとめの段階ですが、最終答申案づくりへ向けた今後のスケジュールは次のようになっています。

まず二月五日に福祉文化会館で町民公聴会を開催。今回の中間案について、詳細な説明と意見交換を行います。そこで出た意見をもとに、策定委員会ですらに議論を煮詰め、三月下旬には最終案をまとめて、教育長に答申の予定です。

また、三月五日には、葉山町教育総合プラン「キック・オフ大会」を開催します。

問合せ 内線四三三



教育機関の位置

